

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 髄液中エクソソームを用いた多系統萎縮症の早期診断法の開発

### 研究の目的

エクソソームは細胞から分泌される細胞外小胞であり、エクソソームを介し様々な物質を他の細胞に送っているとされ疾患の病態に関わることが知られています。多系統萎縮症はオリゴデンドログリアと呼ばれる細胞の中に異常なタンパク質である シヌクレインが蓄積する疾患です。本研究では、既に採取され保存された患者様の髄液を用い、髄液エクソソーム内の異常 シヌクレイン量を含む様々な病的タンパク質ならびにそのメッセンジャーRNAを測定することによるMSAの早期診断法の開発を目指します。

研究実施期間： 2023年4月13日 ~2026年6月26日

(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2000年1月1日~2025年3月31日までに青森県立中央病院脳神経内科ならびに弘前大学医学部附属病院脳神経内科に通院され、診断目的に髄液を採取・保存された多系統萎縮症患者様と多系統萎縮症以外の比較対象となる患者様(パーキンソン病や進行性核上性麻痺を含む)。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

青森県立中央病院脳神経内科ならびに弘前大学医学部附属病院脳神経内科の診療録に記録されている発症時年齢、性別、神経症状を含む全ての臨床データならびに髄液を標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、多系統萎縮症患者様の髄液中エクソソーム内の異常 シヌクレイン量が比較対象に比べて増えているか、異常 シヌクレイン量がこれらの臨床データの間に関連があるかどうか、を検討します。また、本エクソソームに含まれる異常タンパク質やそのメッセンジャーRNA量が疾患間で異なるかも検討します。さらに、これらの検討で得られた所見が新多系統萎縮症診療ガイドラインの診断基準に寄与するかどうかも併せて検討します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同

意いただけない患者さん / その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果が公表されている場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	脳神経病理学講座・三木康生・0172-39-5135
-------	----------------------------